

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第6部門第3区分  
【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2003-203011(P2003-203011A)  
【公開日】平成15年7月18日(2003.7.18)  
【出願番号】特願2002-302249(P2002-302249)  
【国際特許分類第7版】

G 0 6 F 12/14

G 0 6 F 15/00

【F I】

G 0 6 F 12/14 3 1 0 A

G 0 6 F 15/00 3 3 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年9月6日(2005.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【従来の技術】

分散コンピューティングシステム内で伝送されるデータを保護するために、セキュリティフレームワークが開発されている。既存のセキュリティフレームワークは、1組のプライバシー、セキュリティ、適応性、スケーラビリティの程度を有する。たとえば、Kerberosシステムは、第三者と鍵を共用するユーザによる安全な通信を提供する。安全な通信を行うために、各当事者がその第三者に接続し、その第三者によって発行された鍵を使用する。様々な欠点の中でも、Kerberosシステムは、第三者が互いに通信している諸ユーザのアイデンティティを追跡することを可能にする。さらに、第三者が鍵を発行するため、第三者はメッセージを解読することができる。Kerberosシステムは固定されている。すなわち、管理者は、展開のオプションの中で柔軟性に制限を受ける。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】